

## メディアリリース

2010年3月11日

### ゼネラルモーターズ AUTOSARのコアパートナーとして提携を続行

AUTOSAR 開発パートナーシップは、AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) の第三期においても、ゼネラルモーターズが 2010 年 3 月よりコアパートナーとして提携し続けることを発表しました。2009 年中旬の AUTOSAR 開発契約の更新に際して、当初ゼネラルモーターズは 2010 年より AUTOSAR のプレミアムメンバーとして参加することを計画していました。しかし、同社はこの度、2012 年末までを契約期間とする AUTOSAR コアパートナー契約に調印しました。この契約締結により、ゼネラルモーターズは開発パートナーシップへの取り組みを再度強化します。

AUTOSAR 第三期では、主に、メンテナンス、標準への厳選した機能追加、成熟化、新しいハードウェア機構への対応、既存 AUTOSAR システムの改善に焦点が置かれます。

AUTOSAR 広報担当者のジモン・フルスト氏は、「ゼネラルモーターズをコアパートナーとして引き続き開発パートナーシップに迎えられることを大変嬉しく思います」と語り、「同社がコアパートナーとしての参加を決定した背景には、AUTOSAR 標準の重要性の高まりがあります。AUTOSAR は、ますます複雑化するソフトウェア機能を抑制する世界的なキーテクノロジーであることが示されました。」と続けます。

「自動車産業が今後の課題をクリアしていくうえで、AUTOSAR は欠かせない基本条件の一つです」と、ゼネラルモーターズのロバート・リムクス氏は言います。グローバル・ソフトウェア・アーキテクチャのエンジニアリンググループ マネージャーである同氏は、「引き続き AUTOSAR のコアパートナーになることを決めた当社の決定は、AUTOSAR の掲げる目標を全面的に支持し、標準の普及を目指すゼネラルモーターズの態度表明である」と述べています。

AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture) は自動車メーカー、サプライヤーまたエレクトロニクス、半導体およびソフトウェアを専門とする企業の世界規模の開発パートナーシップです。

2003年からこれらの企業は、自動車業界のための開かれたそしてオープンな標準化されたソフトウェア・アーキテクチャの開発と導入に取り組んでいます。AUTOSARの仕様を活用することによって取り組みで、ソフトウェアとハードウェアの交換およびアップデートを容易にすることが出来ます。により増大する車載電気 / 電子システムの複雑化を確実に管理出来るようになります。性の確実な管理基盤を形成します。またAUTOSARは品質面での妥協することなく、コスト効率を向上させることが出来ます。AUTOSARのコアパートナーはBMWグループ、Bosch、Continental、Daimler、Ford、General Motors、PSA Peugeot Citroën、トヨタ自動車株式会社、Volkswagenです。これに加えて65社以上の "プレミアムメンバー" 及び "開発メンバー"、更には 85社以上の "提携メンバー" もより成果あるパートナーシップ貢献のために重要な役割を果たしています。AUTOSARの開発パートナーメンバーシップに参加する企業はAUTOSAR仕様を無償で利用することができます。

お問い合わせ:

[www.autosar.org](http://www.autosar.org)

[media@autosar.org](mailto:media@autosar.org)